

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助演習 I		必修 (社) 選択 (精.心)	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 社会において様々な生活上の課題を抱え、社会福祉サービスを必要としている人々のニーズに対応するには、ソーシャルワークの技術を実践的に学ぶ必要がある。本講義では、ソーシャルワークに必要な価値と倫理の意味を理解し、対人援助を行う際に求められる基本的なコミュニケーション技術を体感し、身に付けることを目的とする。</p> <p><概要> 授業は演習形式で行う。授業毎に課題を提示し、体験を通して理解を深めていく。また、授業後にリアクションペーパーを提示し振り返りを行う。</p>				
学習上の助言	演習のため、受け身の授業でなく受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等に積極的に取り組むことが望ましい。				
教科書	社会福祉士 相談援助演習 第2版/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉士の価値・倫理とは何かを説明できる。			HSU(2)、WP(1)	
②	社会福祉士の価値と個人の価値観との違いを説明できる。			HSU(1)、WP(3)	
③	社会福祉士が自己覚知を行う必要があることを説明できる。			HSU(6)、WP(4)、(5)	
④	人と環境の理解の必要性について説明できる。			HSU(5)、WP(3)、(5)	
⑤	ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク実践について説明できる。			HSU(2)、WP(5)	
⑥	ソーシャルワークの展開過程を説明できる			HSU(2)、WP(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約、講義の概略、講義の進めかた、学びの方法について理解する。	演習	内容の復習を行う。		1
2	「演習のねらい」の確認及び「社会福祉士が関わる様々な生活問題」について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
3	自己覚知の必要性及び相談援助の価値と倫理を学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
4	事例から社会福祉士の倫理綱領の意味について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
5	倫理綱領と行動規範について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
6	対人援助関係について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
7	「人」を理解することで、個人の価値と他人の価値の違いについて学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
8	ソーシャルワーカーにとっての「人」について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
9	ソーシャルワーカーにとっての「環境」について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
10	ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク実践について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
11	ソーシャルワークの展開過程について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
12	ソーシャルワークの展開過程から、ミクロ・メゾ・マクロの視点での捉え方について学習する①。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
13	ソーシャルワークの展開過程から、ミクロ・メゾ・マクロの視点での捉え方について学習する②。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		3
14	グループワークの展開過程について学習する。	演習	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		3
15	ソーシャルワークの展開過程の全体像について学習する。	演習	フィードバックを基に前回の確認を行う。		5
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		40	0	40	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	20	0	0	20
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から必ず出題する。 ・試験形式（筆記試験） ・問題形式（選択式・記述式）				試験結果の掲示
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	毎回の講義で、テーマに応じて他者とロールプレイやグループワークを実施する。その際、ワークへの取り組み状況や姿勢、メンバーとの協調性、リーダーシップの発揮状況、発表者の発表内容等を見て判断する。				発表時や講義内でコメントする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業時に配布するリアクションペーパーの内容を確認し、授業内容を理解しているかを評価する。				講義内でコメントする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
<p>今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p>「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介したコミュニケーションに関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野から相談援助技術の素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。</p> <p>担当教員：◎渡邊隆文、田村正人</p> <p>教員の実務経験：渡邊隆文（社会福祉士取得後 6 年の実務経験）、田村正人（社会福祉士取得後 8 年の実務経験）</p> <p>実践的授業の内容：テキストやシラバスに沿って、教員が実践してきた事例（個人を特定できないよう加工）を用いたり、実践内容をソーシャルワークの基本に当てはめて説明を行ったりすることで、学生が科目内容をより具体的に学ぶことができるよう工夫して学習を進める。</p>							